

持続可能なまちづくりと健全な財政運営の両立



自由民主党市議団
江上 しほり 議員



市長の政治姿勢

問 第7次総合計画の取組状況と目指す都市像に対する市長の思いは。

答 この計画の初年度となる令和6年度については、若者が夢を持って働くまちづくり、子育て世代に魅力的なまちづくり、誰もが安心して元気に暮らせるまちづくり、まちなか再生による活性化や災害につよいまちづくりに取り組んできた。今後とも目指す都市像として掲げている「元気あふれる安心快適な未来価値創造都市おおむた～有明海沿岸地域のリーディングシティ～」の実現に向けて必要となる施策をしっかりと推進していく。

問 厳しい財政状況の中、持続可能なまちづくりを実現するための財政運営の方針は。

答 選択と集中による事業の取捨選択や事業費の精査、財源の確保、経常的な経費の抑制を図り、限られた行政資源の中で効率的で効果的な財政運営を進めていく必要がある。

再発言 人口減少が深刻化している状況を踏まえ、今後のまちづくりについては、若者

や女性のニーズに応じた施策を積極的に推進してほしい。

問 令和5年度決算は単年度収支が4億円の赤字であり、令和6年度以降も収支不足が続くものと考えられる。財政計画では、令和9年度までの間、毎年、市の貯金である財政調整基金2億円以上を取り崩し、不足分を補っている状況にある。96%と高い経常収支比率を、今後どのように改善すべきとお考えか。

答 経常収支比率の分母となる歳入面では、企業誘致等により市税等の経常一般財源を確保していく。また、分子となる歳出面では、人件費や公債費等の経常経費を抑制していく必要があると考える。

再発言 今後も経常的経費の増加により、財政の硬直化が進んでいくものと考えられることから、新規事業や拡大事業については、特定財源の確保に努められるとともに、既存事業の見直しによる一般財源の確保を徹底されたい。市庁舎整備事業についても規模の縮小を含めた検討を行うなど、持続可能なまちづくりと健全な財政運営をしっかりと両立されるよう要望する。

新栄町駅前地区 市街地再開発事業の 現状と今後

問 再開発準備組合を中心に、西鉄や商工会議所、市が連携して進められているが、進捗状況や今後の取組は。

答 事業主体である再開発準備組合とともに、事業者との

協議や地権者との意向確認などを行い、施設計画の検討や調整を支援しているところであり、今後も引き続きしっかりと支援していきたい。

再発言 令和7年度には事業のめどが立つよう、最大限の支援と後押しをお願いする。

民生委員等担い手不足問題と 民生委員制度創設 100周年記念事業

問 担い手不足の解消に向けた今後の取組は。

答 先進事例等の収集を行い、民生委員・児童委員協議会と連携し、成り手を確保したい。

再発言 民生委員等の欠員情報をホームページや回覧板等を活用して直接住民に届けるような取組をお願いする。



「民生委員・児童委員100周年」
シンボルマーク

問 本市の民生委員制度は令和7年度に創設100周年という大きな節目を迎えるが、この記念事業の計画は。

答 民生委員・児童委員協議会と本市との共催による100周年記念事業を予定しており、子供や保護者など広く若い世代にも楽しんでいただけるようなイベントにしたい。

再発言 この記念事業を通じて、より多くの市民に民生委員活動を知っていただき、民生委員の担い手不足の解消につながることを期待する。